

看護学研究奨励賞の活動について

～120 周年記念事業にあたって～

長崎看護学同窓会は、平成 14 年（2002 年）に「長崎における看護教育 100 年を記念する会」を開催しましたが、「看護学研究奨励賞」は、この 100 年記念事業への寄付金を原資として発足したものです。本賞の規程には「優秀な研究者育成のために研究費の一部を助成し、看護学の向上および発展に寄与するもことを目的とする」と記され、未来に羽ばたく若手会員の研究活動支援としてスタートしました。

本賞は、応募方法、選定委員会、運営規程作成等の準備期間を経て、2005 年に募集を開始しました。19 年間で 52 題の応募があり、そのうち 38 題の申請者に看護学研究奨励賞が授与されました。助成金額は年間 50 万円、1 件につき 30 万円を上限としています。受賞翌年には経過報告書の提出と共に、同窓会総会で研究成果を発表していただいています。テーマに関連する新しい知見やユニークな視点での取り組みが報告され、毎年活発な発表会となっています。受賞者一覧を別表にまとめていますのでご参照ください。

この賞は、長崎看護学同窓会並びに研究奨励賞の活動に賛同しご協力いただくことでこれまで続けることができました。毎年 6 月に長崎大学病院や県内病院に勤務する同窓生にそれぞれの看護部長を通じて案内状を送付しています。長崎大学医学部保健学科の看護系の先生にもご案内し、修士課程の研究助成として活用していただいています。この 19 年間に本奨励賞に応募してくださった方々、本奨励賞の周知さらには応募の指導・支援をしていただきました皆さまに深く感謝申し上げます。また、ご多忙の中毎年査読・選考にあたっていただいています選考委員の先生方にも感謝申し上げます。

これからの時代は、急性期医療や地域医療のあり方、感染症対策、人材不足の問題など、複雑で解決困難な課題に立ち向かわなければなりません。これまでとは違った問題のとらえ方、解決のしかたに変わっていくのかもしれませんが、AI や DX などの時代の波に呑み込まれないためにも、新たな対策、チャレンジとしての研究活動が必要になってくるでしょう。これから看護研究を始める方や、研究を継続、発展させたい方への応援隊として、研究奨励賞の活動が長く続くことを願っています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長（研究奨励賞担当） 勝野久美子

長崎看護学同窓会 看護研究奨励賞 受賞者一覧

採用数	申請年度	申請者	卒業回	所属	テーマ
1	H17 (2005)	岡田みずほ	医短4	長崎大学医学部・歯学部附属病院	外来がん化学療法を受ける肺癌患者のアセスメント —Patient Needs Assessment Toolを使用して—
2	H17 (2005)	野村亜由美	準会員	長崎大学医学部保健学科	長崎県内在住のキリスト教徒の死生観に関する研究 —遺族の悲嘆過程に焦点をあてて—
3	H18 (2006)	中尾理恵子	医短3	長崎大学医学部保健学科	日・韓看護大学生の喫煙の状況と意識の比較
4	H18 (2006)	入山茂美	準会員	長崎大学医学部保健学科	日本人女子大生における人工妊娠中絶に関する研究
5	H20 (2008)	山崎真紀子	助産7	長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻	北関東における日本人母親の母乳育児継続要因に関する研究
6	H20 (2008)	大石 和代	看学27	長崎大学医学部保健学科看護学専攻	助産制度利用者の現状と母子保健上の問題点に関する研究
7	H20 (2008)	村上 香織	準会員	長崎大学医学部・歯学部附属病院	化学療法を継続する壮年期肺がん患者の心理プロセス
8	H21 (2009)	村田 洋章	医短17	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士(前期)課程	急性呼吸不全患者へのNPPV継続のための看護ケアと臨床判断に関する研究
9	H21 (2009)	赤星衣美	看学36・修1	長崎大学病院	3回の流産・死産・新生児死亡を経験した両親が新たな妊娠・出産を受け入れていく心理過程の分析
10	H21 (2009)	川上 悦子	医短6	長崎大学病院	当院ICUにおける看護実践能力習熟評価システム構築に関する研究
11	H22 (2010)	山口 智美	準会員	長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻	臨床看護倫理国際比較調査票Version IIによる比較文化的研究
12	H22 (2010)	小淵 美樹子	看学36	長崎大学病院	特定機能病院における認知症高齢者の看護の実態
13	H22 (2010)	永富 礼二	準会員	長崎大学病院	看護師の急変対応自己評価尺度の作成と妥当性の検証
14	H22 (2010)	高田 沙織	保5・修5	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程	精神科に通院する子どもをもつ母親の体験と思い
15	H23 (2011)	小川 和美	準会員	長崎大学病院	臨床看護師が体験している倫理的問題の実態及びその認識
16	H23 (2011)	佐々木規子	医短6	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討
17	H24 (2012)	赤星衣美	看学36・修1	長崎大学病院	やせた妊婦と低出生体重児出生との関連
18	H24 (2012)	坪田幸子	保3・修6	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学看護学講座修士課程	長期入院している双胎妊婦の経験と必要な支援に関する研究
19	H24 (2012)	黒田裕美	準会員	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻	看護文化の継承: 専門職アイデンティティと戦争・災害・地域社会文化
20	H25 (2013)	高瀬江利子	医短5	長崎済会病院	全身麻酔下で腹臥位手術時に入室前より加温を行なうことで、麻酔導入後の体温低下を防ぐ
21	H25 (2013)	永井幸代	保5	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻修士課程	女子大学生の月経に影響を及ぼす関連要因と健康状態
22	H26 (2014)	松尾 佳奈	修7	長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座2年	産婦に対するマタニティヨガの分娩時リラックス効果の検証
23	H26 (2014)	山口ゆかり	保3	長崎大学病院	妊娠期におけるレストレスレッグス症候群のスクリーニングと周産期アウトカムへの影響
24	H26 (2014)	平野 裕子	準会員	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座 教授	ベトナム人看護師の日本の看護師国家試験対策に関する基礎的研究—看護師の属性と模擬試験得点との関連を中心に—